

キャンプファイア・キャンドルサービス

国立花山青少年自然の家

1 活動の概要等

山ふところに抱かれた自然の中で、火を囲みながらのひとときは、集団生活での感動的場面となります。静けさの中、炎を見つめながら、自分を振り返り、友情を深め、情熱を燃やすことは、忘れ得ぬ思い出となります。

闇夜の中で、燃えさかる神聖な火の下につどい、見つめ合い語り合うことを通して、友情と協同の精神を養い親睦を図ることを目指します。

2 時期・時間

春から秋頃まで活動できます。(キャンドルサービスは年間を通して活動できます。)
90分～120分くらい

3 活動場所

キャンプファイア→青少年自然の家キャンプ場
 営火場(すりばち広場、冒険広場、見晴らし広場、つどいの広場)
 キャンドルサービス→プレイホール、オリエンテーション室、大・中・小研修室、
 工作館等

4 準備

【キャンプファイア】

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
無線 アンプ マイク 延長コード のこぎり なた スコップ 一輪車	活動に適した服装 細枝 マッチ 衣装 懐中電灯 カセットテープ 新聞紙 トーチ棒(営火長と点火係の人数分) 救急薬品 その他必要な物等

【キャンドルサービス】

青少年自然の家で貸し出しできる物	利用者に準備する物
無線 アンプ マイク 延長コード 中央燭台 こけしの燭台(個人用) シート	活動に適した服装 細枝 マッチ 衣装 懐中電灯 カセットテープ 新聞紙 ろうそく(売店でも購入できます。) 救急薬品 その他必要な物等

<係の準備>

- 営火長(1名) 団体を代表する人
- 聖火係(1名) 聖火を持ち営火長を誘導します
- 司会者(1～2名) 第1～3部の司会をします
- 点火係(4～6名) グループの代表として火床に点火します
(ろうそくの火を班員に分火します)
- 感想発表者(2～3名) 感想や抱負を述べます
- 会場係(若干名) 会場の準備や整理にあたります

※薪は、水に濡らさない・火をつけない・灯油をかけていない状態であれば返品が可能。

5 実施例

第1部：火を迎えるつどい 15分～20分

【キャンプファイア】	【キャンドルサービス】
① 入場・整列 <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに入場し所定の位置につきます。 ・火床を囲み、起立して静かに待ちます。 ・聖火係はトーチを持って出発点で待ちます。(営火長も一緒) 	① 入場・整列 <ul style="list-style-type: none"> ・全員ろうそくを持って入場します。 ・燭台を囲み、起立して静かに待ちます。 ・聖火係は大きいろうそくを持って出発点で待ちます。(事前に中央燭台に何本かセットしておくのもよいです。)
② 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・司会者が開会の言葉を言います。 	② 開会 <ul style="list-style-type: none"> ・司会者が開会の言葉を言います。
③ 火を迎える歌・聖火入場 <ul style="list-style-type: none"> ・「遠き山に日は落ちて」を全員で歌いながら火を迎えます。(1番は歌詞で、2番からはハミングで、ハミングになったら聖火入場。聖火係は聖火を営火長にわたし、営火長の隣に位置します。) 	③ 火を迎える歌・聖火入場 <ul style="list-style-type: none"> ・「遠き山に日は落ちて」を全員で歌いながら火を迎えます。(1番は歌詞で、2番からはハミングで、ハミングになったら聖火入場。聖火係は聖火を営火長にわたし、営火長の隣に位置します。)
④ 営火長の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・火に関する話や感動的な話を取り入れてください。 	④ 営火長の言葉 <ul style="list-style-type: none"> ・火に関する話や感動的な話を取り入れてください。
⑤ 点火 <ul style="list-style-type: none"> ・点火係は営火長の前に整列します。 ・営火長は「友情の火」「健康の火」等の言葉とともに火を授けます。 ・点火係は、営火長の言葉を受けて一人ずつ誓いの言葉を言います。 ・点火係は火床の周りに位置し「点火」の合図で点火します。 	⑤ 点火 <ul style="list-style-type: none"> ・点火係は営火長の前に整列します。 ・営火長は「友情の火」「健康の火」等の言葉とともに火を授けます。 ・点火係は、営火長の言葉を受けて一人ずつ誓いの言葉を言います。 ・点火係は自分の位置に戻って班員に火を分けていきます。そこから順番に隣へと火を分けていきます。
	⑥ 集火 <ul style="list-style-type: none"> ・中央燭台へ順番にろうそくを集めます。(大人数の場合には代表者)
⑥ 歌 <ul style="list-style-type: none"> ・炎が燃え上がったなら「もえろよもえろ」を歌います。 	⑦ 歌 <ul style="list-style-type: none"> ・「ふるさと」「四季のうた」等を歌います。

第2部：親睦のつどい 45分～55分

○それぞれ練習・用意してきた出し物を披露します。

○全員でできるフォークダンス、ゲーム、歌等も入れましょう。

※明るく楽しい雰囲気になるようにしましょう。

制限時間を決めてだらだらとならないように配慮しましょう。

第3部：火を送るどい 10分～15分

【キャンプファイア】	【キャンドルサービス】
① 歌 ・「今日の日はさようなら」「一日のおわり」等静かな歌を歌います。	① 歌 ・「今日の日はさようなら」「一日のおわり」等静かな歌を歌います。 (あらかじめ全員のろうそくに火をつけておきます。)
② 営火長の言葉 ・まとめとなる話をしてください。	② 営火長の言葉 ・まとめとなる話をしてください。
③ 感想発表 ・発表者は営火長の前に出て感想や反省、抱負等を話します。	③ 感想発表 ・発表者は営火長の前に出て感想や反省、抱負等を話します。
④ 火を送る歌 ・終わりの歌にふさわしいものを歌う。 (「今日の日はさようなら」等)	④ 火を送る歌 ・終わりの歌にふさわしいものを歌う。 (「今日の日はさようなら」等) ・歌の2番からハミング、そこから各自のろうそくの火を消してもよいです。 ・営火長の隣から一人ずつ全員と握手して退場してもよいです。会場を出てから火を消しましょう。
⑤ 聖火退場 ・司会者が閉会の言葉を言います。 ・諸連絡をし、後始末に入ります。	⑤ 聖火退場 ・司会者が閉会の言葉を言います。 ・諸連絡をし、後始末に入ります。
後片づけ ・火床の残り火は完全に消してください。 ・火気が残っている場合には、代表者が消えるまでその場にいます。 ・代表者は消火1時間後に再度消火の確認をしてください。 ・翌朝の清掃時に火床の始末をしてください。	後片づけ ・ろうそくが消えているのを確認し、所定の箱に入れます。 ・燭台を元の場所に返却します。 ・シートを元の場所に返却します。

6 留意点

- ・キャンプファイアやキャンドルサービスには、定形がありません。創意工夫と協力で、ねらいに沿った活動を考えてください。
- ・事前の準備には十分時間をとり、余裕をもって実施しましょう。
- ・トーチ棒や細枝集めの作業も、プログラムの中に位置づけるのが望ましいです。
- ・安全管理には十分留意し、特に火気の取り扱いに注意してください。
- ・つどいの広場で実施する場合には、移動式の営火台を使用しますので、青少年自然の家職員の説明のもと設置してください。

[参考資料]

キャンプファイア・キャンドルサービス司会要領(例)

第一部 火を 迎 え る つ ど い	① 入場	司会が入場を指示します。
	② 開会	「ただいまより〇〇のキャンプファイア(キャンドルサービス)を はじめ ます。」
	③ 歌	「はじめに歌を歌いましょう。(遠き山に日は落ちて)をはじめは 歌詞 で、2番からはハミングでくりかえします。」
	④ 聖火入場	(歌の途中から聖火入場→所定の位置につきます。)
	⑤ 営火長の 言葉	「営火長の言葉をいただきます。」 「点火係は営火長から聖火をいただいてください。」
	⑥ 点火	営火長「あなたの班には〇〇の火を与えます。」(一人ずつ) 点火係「わたしたちは～することを誓います。」 「点火!」(点火係が火床の周りに位置してから行います。) ※「点火係はそれぞれの席に戻り、友に火を分かち与えてください。」 ※「点火係に続いて班ごとに燭台に火をうつしてください。」 「(もえろよもえろ、ふるさと、四季のうた等)を歌いましょう。」
	(⑦集火) ⑦(⑧)歌	「以上で第1部を終わります。全員ご着席ください。」 ※個人用ろうそくの火は消してください。
第二部	親睦のつどい	ゲーム、スタンツやフォークダンス等、前もって順番を決めておき、全員 に知らせておきます。
第三部 火を 送 る つ ど い	① 歌	「これより第3部をはじめます。全員ご起立ください。」
	② 営火長の 言葉	「(今日の日はさようなら、一日の終わり等)を歌いましょう。」 「営火長から終わりの言葉をいただきます。」
	③ 感想発表	「次にみなさんを代表して〇〇さんと〇〇さんに感想を述べてもらいま す。」(営火長の前に出て感想を述べます。)
	④ 歌	「最後に別れの歌を歌いましょう。一番は歌詞で、二番からはハミングし てください。」(ハミングの途中で聖火が退場します。)
	⑤ 聖火退場	「営火長の右隣から一人ずつ全員と握手しながら退場してください。」 ※「営火長の両隣から各自のろうそくの火を順々に消していきたくださ い。」 「楽しいつどいも終わりのときとなりました。この喜びをいつまでも胸に抱 いて、明日からの活動に励みましょう。以上で〇〇のキャンプファイア (キャンドルサービス)を終わります。ご協力ありがとうございました。」
	⑥ 閉会	(連絡・解散)

後片づけ

[参考資料]

キャンプファイア・キャンドルサービス要領(例)

<火の神の言葉>

わたしは花山の神の使いとして、〇〇のみなさんに神の聖なる火をつかわすためにここに来た火の神です。

赤々と燃えるこの火には、平和と友情と親睦の願いが込められています。みなさん、花山青少年自然の家で仲間とともにがんばったこと、楽しかったことをいつまでも忘れずに、これからも友情の輪を広げていきましょう。

<営火長の言葉>

わたしたちは、全員が協力して花山青少年自然の家で実りある生活ができたことに感謝します。わたしたちは、この大自然に抱かれたなか、〇泊〇日の生活を全員の力で取り組み、大きな喜びと新しい力を得たことを感謝します。赤々と燃える聖なる火は、末永くわたしたちの胸の中に残ることを信じてこのつどいを閉じたいと思います。

<献詞—一人のとき>

家庭や学校から離れ、大自然の中にどっぷりひたったとき、自然の雄大さを感じました。友達と力を合わせてがんばった活動、食事や部屋での友との交流等、この経験から[友達っていないなあ。]と感じました。

今日この感動を忘れることなく、この燃える炎のように、友情の火をいつまでも燃やす続けていきたいと思います。

平成〇〇年〇〇月〇〇日

代表 〇〇 〇〇

<献詞—グループのとき>

友情の火 わたしたちは、友情を大切にすることを誓います。

社会につくす火 わたしたちは、社会につくすことを誓います。

自然を大切にす火 わたしたちは、自然を大切にすることを誓います。

誠実の火 わたしたちは、誠実な人になることを誓います。